

秋田の話題から

『来訪神：仮面・仮装の神々』
世界無形文化遺産に登録

ナマハゲ伝導士第一期生

小野 鐵雄

(昭和38年土木科卒)



世界遺産は、1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(世界遺産条約)に基づいて、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つと認められた遺跡・景観・自然などがリストに登録される。

日本では93年12月法隆寺地域の仏教建築物(奈良県)、姫路城(兵庫県)が世界文化遺産に初めて登録された。その後京都の文化財、白川郷・五箇山の合掌造り集落、原爆ドーム(広島県)、富士山-信仰の対象と芸術の源泉、中舌島・古市古墳群まで、文化遺産は19件。世界自然遺産は93年に同時登録された屋久島(鹿児島県)と白神山地(秋田県、青森県)のほか、知床(北海道)、小笠原諸島(東京都)の4件である。世界全体では2018年時点で、1073件の世界遺産(うち文化遺産832件、自然遺産206件、複合遺産35件)が登録されている。

「無形文化遺産の保護に関する条約は、グローバル化の進展や社会の変容など無形文化遺産に衰退や消滅などの脅威をもたらされるとの認識から、無形文化遺産の保護を目的として、2003年のユネスコ総会で採択された。この条約によって、世界遺産条約が対象としてきた有形の文化遺産に加え、無形文化遺産についても国際的な枠組みが整った。

日本では2008年に能楽、人形浄瑠璃文楽、歌舞伎が世界無形文化遺産に登録された。その後雅楽、小千谷縮・越後上布(新潟県)、甕島のトシドン(鹿児島県)、アイヌ古式舞踊(北海道)、那智の田楽(和歌山県)、和食(日本人の伝統的食文化)、山・鉾・屋台行事(秋田県内の角館祭りのやま行事、土崎神明社祭り曳山行事、花輪祭の屋台行事を含む33件)、『甕島のトシドン(鹿児島県)』(2009年無形文化遺産登

録)に続いて、2018年11月『男鹿のナマハゲ』を含む『来訪神：仮面・仮装の神々9団体』が世界無形文化遺産に登録された。日本国内の無形文化遺産登録件数21件(42団体)である。

『男鹿のナマハゲ』行事は、もともと旧正月15日の晩、赤と青の恐ろしい「仮面」をかぶり、身には藁で編んだ「けで」をまとい、大声で叫び威圧的・横暴な態度で各家をまわる。迎える側も悪霊を追い払う福神来訪として意識し、座敷に迎え、準備していたお膳が供され接待と饗応のもてなしを受ける。この行事は、その後大晦日に行われるようになり、昭和53年、国指定重要無形民俗文化財となって現在まで続いている。

ナマハゲの起源は4つの諸説がある。①『漢の武帝説』中国・漢の武帝が5匹の鬼を従えてやってきた。悪さをする鬼と村人が、朝が来るまで1000段の石段を積み上げる賭けを試み、999段積み上がったときに一番鶏が鳴いたところ鬼は逃げ帰った。鬼の祟りを恐れ、鬼に扮して村を訪ねた人をもてなして山に帰ってもらう祭りの説。

②『異国人説』日本に流れ着いた体格も髪・瞳・肌の色も違う異国人が寺に仕え、年に一度村人を訪ねて回ったのが起源。③『修験者説』霊場として知られる男鹿の山で修行する姿や、祈禱する形相がナマハゲとして見られた。④『役人説』農閑期でだらけた農民の態度を戒めるべく、鬼の形相の役人が家々を訪問したのが起源。しかし、ナマハゲ行事はいつから始まったのかはよく分かっていない。赤神神社五社堂(男鹿市門前)は建保4年(1216年)建立された中世にスタートしたのではないかという学説がある。

ナマハゲの姿を絵に描き、文章にしたのは菅江真澄が最初(写本/秋田県立博物館蔵、江戸後期(1810年))である。またナマハゲの姿が全国的な出版物に絵入りで紹介された「風俗画法」(明治33年)。

菅江真澄は「男鹿の春風」で男鹿市若美町の遍照院光飯寺に「寛元2年(1244年)」ごろから保存されていた面は、雨乞い、日和上げ面を指すのではなからうか、江戸中期以前の紀年銘を有する面は発見されていない。現在保存されている80集落133の面の材料は木製(ケヤキ、ケヤキの皮、杉皮、桐)が半分を占め、ついでザルが四分の一、プラスチック、トタン、ベニヤが四分の一となっている。

芸術家岡本太郎は「芸術新潮」に全国各地の伝統行事などを見て歩き「芸術風土記」を連載した。その冒頭に男鹿のナマハゲを取り上げ、彼はナマハゲに惹かれたのは面だという。船川港芦沢地区の赤鬼・青鬼のザル面を見て「無邪気で、おおらかで、神秘的だ。濃い生活の匂いがする」と芸術家の視点から評価を下した。

平成16年12月、男鹿市観光協会が主催する第一回ナマハゲ伝導士試験に合格して第一期のナマハゲ伝導士の称号を得た。当時、首都圏の秋田県物産振興事業として各デパートで秋田物産展、東北物産展等のイベントにナマハゲ出演を秋田県東京事務所等から依頼されて出演したのが皮切りに次々と出演依頼が舞い込んだ。また、母校のスポーツの応援として、京都西京極陸上競技場で開催される高校駅伝、大阪花園ラグビー場での全国高校ラグビー競技大会での応援をはじめ、母校の関東地区で出場する大会にはナマハゲ衣装を持参で応援してきた。今後も気力・体力が続く限りナマハゲ出演を続けたいと思っている。



首都圏男鹿の会ナマハゲクラブの仲間



ナマハゲ行事スタートは800年～1600年(?)



菅江真澄のナマハゲ絵図

労働安全コンサルタント

登録No: 土 第1213号

小野 鐵雄

(昭和38年 土木科卒)

〒279-0011 千葉県浦安市美浜5-6-1003

TEL&FAX. 047-352-8925

携帯. 090-6566-7936

E-mail: safety-con_tetsuo_o@pa2.so-net.ne.jp